

2005. 6. 14

日本7MHz無線連盟

高速電力線通信推進協議会

合同実験 (2005. 6. 6~6. 8 at アクソ鹿島) について

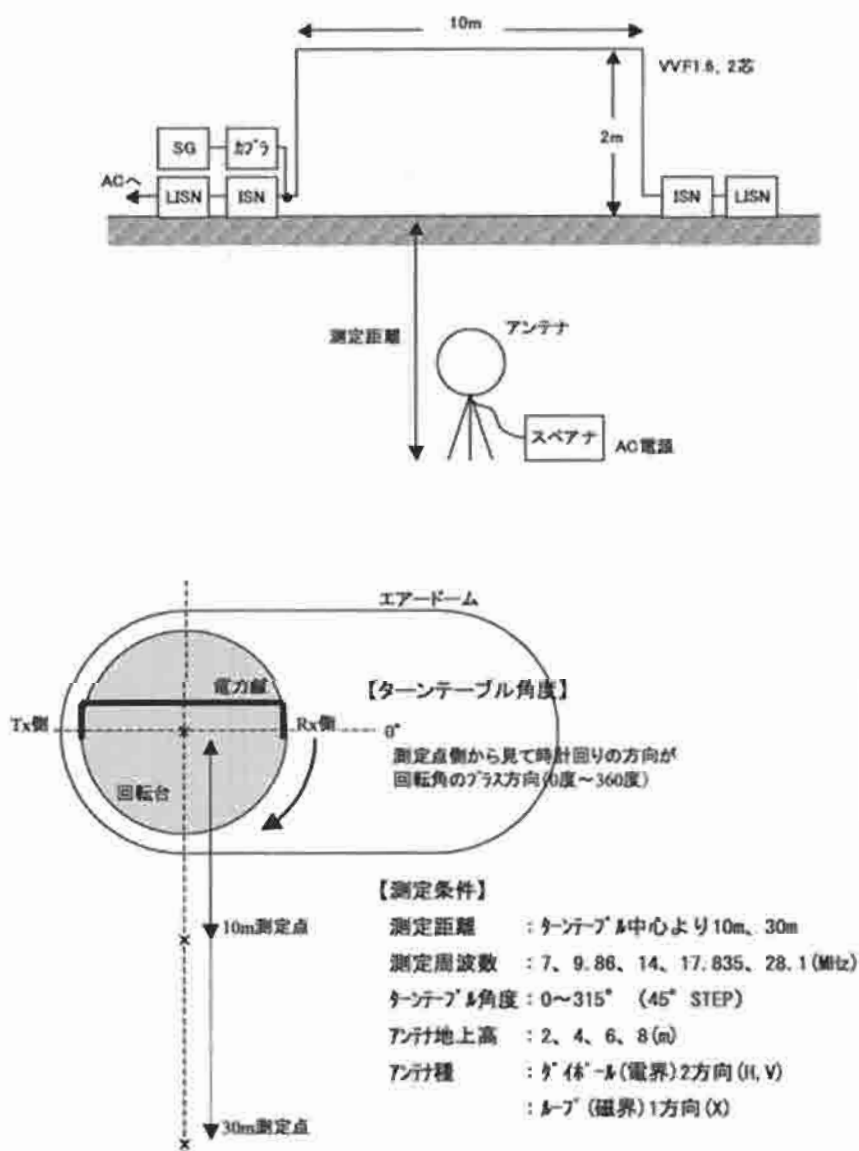
1. 目的

管理された仮設配電線に信号を注入し、高さ方向の電界強度特性を把握する。

2. 実験方法

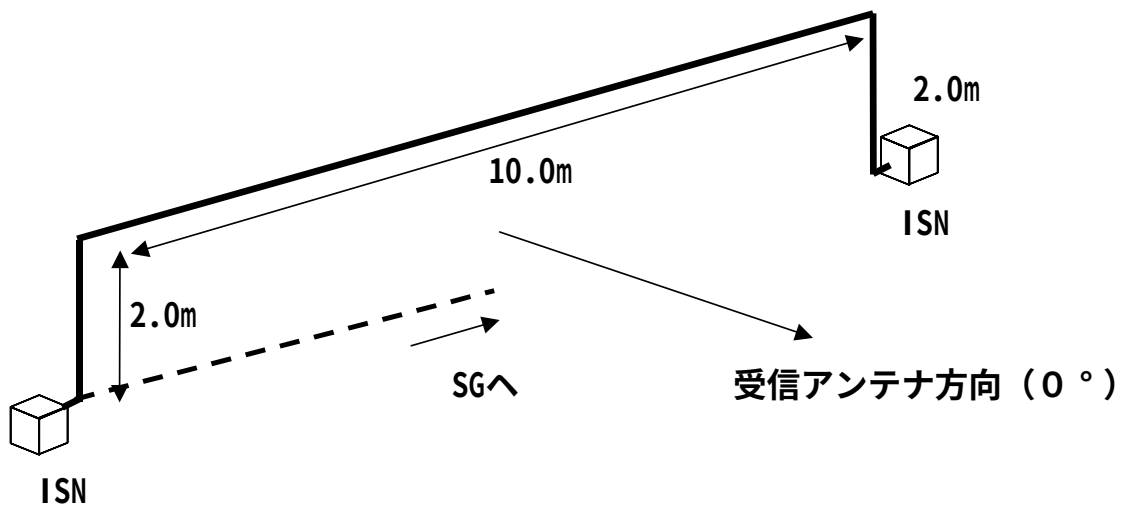
- ①オープンサイトにて下図に示す配電線を構築する。
- ②SG（無変調）を用いて、信号を重畳させる。
- ③距離 10m, 30m での電界強度を計測する。
- ④受信アンテナ（ダイポールとループ）高さを 1 ~ 10m 変化させ、電界強度の変化を観測する。
- ⑤単純な配電線路での実験が終了し次第、分岐を加えた線路にて①~④の実験を行う

3. 測定配置



【仮設配電線（単純な線路）】

ISN の仕様 LCL=30dB、CMZ=150Ω



【仮設配電線（分岐のある線路）】

ISN の仕様 LCL=30dB、CMZ=150Ω

